



災害対策委員ブロックML活用企画！ 災害支援コラム

VOL.
05

28 Aug, 2025

column

～ 期間限定配信「平時の備えコラム」VOL.5

“全国大会で能登の製品販売をしました” ～

皆さんこんにちは、石川県支部の木谷です。今月は僕が担当です。
去る8月22日～23日、福岡県北九州市で全国大会が行われました。
私も数年ぶりの全国大会参加、外気なのか参加者の熱気なのかかわかりませんが、とにかく熱い2日間でした。たくさんの人に声をかけていただき、私も能登半島地震で支援してくださった皆さんにお礼をすることもできました。この場を借りてありがとうございました。



さて今回の全国大会では、「能登を応“縁”★事業所製品販売★」と題して、災害支援体制整備・復興支援委員会の委員が中心となり復興ブースを作り、能登の商品を販売しました。全国大会でのこのような活動は、東日本大震災後から始まったと聞きました。偶然にも第49回石川大会で有志が始めたことから、のちに日本協会が事業化し、今も継承されています。今回は能登北部（珠洲市・輪島市・能登町・穴水町）や能登中部（七尾市・羽咋市・志賀町・宝達志水町・中能登町）の就労系事業所の商品を小倉で販売することができました。結果はもちろん完売！！（後半は権力のある人が無理やり売りさばいていたような気がします笑）。能登の商品を手にとってくださった皆様、ありがとうございます。

令和6年能登半島地震からもう1年半以上が経ちました。日常は徐々に戻り始めていますが、まだまだ地震の爪痕は大きく、復興には数十年かかると言われています。私は発災当時のことは今もはっきり思い出せません、毎日がとても大変で、時間はとても早く過ぎていきました。地元の石川県精神保健福祉士会（以下「県士会」）は、珠洲市で支援活動をしています。発災3か月後からずっと続けています。時間が経つと支援の内容も変わりますが、現地はまだまだ支援を求めています。徐々に撤退する支援団体がいる中で、県士会としては現地に寄り添った支援を続けていこうと考えており、それが私たちが能登にできることだと思っています。

次年度は石川県で全国大会が開催されます。蔭西大会長、岡安事務局長、そして私が運営委員長となり、「つながる“ソーシャルワーク魂の継承” つながろう“新たな実践の創造”」をテーマに2026年9月25日・26日に開催します。福岡大会では力を合わせて運営される皆さんをみて最後には涙しました。石川でも来てよかった、と思えるような大会にしたいと思っています。来年度は皆さんぜひ石川へ来ませんか！？復興ブースもありますよ。

今後も石川に関心をお持ちください。そしてぜひ応“縁”よろしくお願いします。

Editor's note

災害支援体制整備・復興支援委員会
委員 木谷 昌平（石川県支部）

医療法人で20年務めた後、令和3年10月に今の法人を立ち上げ、センター長と自分で言いながら机に座らず、相談支援専門員として毎日地域を飛び回っています。そんな落ち着かない

ところもあってか、最近は企業と福祉をつなぐ共同受注窓口業務をしたり、民間団体と協力してまちづくり活動をしたりもしています。能登半島地震後は福祉避難所の整備や就労系事業所の製品販売に力を入れて取り組んでいます。そしていつもニヤニヤしています。

